

# 平成 30 年度 事業計画書

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日まで)

## I 事業の概要

日本糖尿病財団が平成 30 年度に実施する事業の概要は次のとおりである。

### 公 1 公益目的事業

1. 糖尿病に関する調査研究に対する助成  
糖尿病及び糖尿病合併症の成因、病態、診断並びに治療に関する基礎的、臨床的研究に対する財団独自の助成を行うと共に、企業との共同企画による研究助成を推進する。
2. 糖尿病に関する学術集会並びに組織的な総合研究に対する助成
3. 糖尿病に関する正しい知識の普及・啓発活動に対する助成  
東日本地区並びに西日本地区における糖尿病予防キャンペーン活動を助成し、糖尿病に関する正しい知識の普及・啓発を推進すると共に、予防・啓発用の小冊子、出版物を発行する。
4. 糖尿病に関する国際交流活動に対する助成

### 公 2 公益目的事業

「2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験介入後の追跡研究 J-DOIT3 (追跡)」の実施

## II 事業の内容

### 公 1 公益目的事業

1. 糖尿病に関する調査研究に対する助成
  - ア 糖尿病に関する基礎から臨床研究まで幅広い研究への助成 (別添 1)
  - イ 日本ベーリンガーインゲルハイム (株)・日本イーライリリー (株) との共同企画による研究助成 (別添 2)
  - ウ コストコホールセールジャパン (株) との共同企画による研究助成 (別添 3)
2. 糖尿病に関する学術集会並びに組織的な総合研究に対する助成 (別添 4・別添 5)
3. 糖尿病に関する正しい知識の普及・啓発活動に対する助成  
当財団独自の糖尿病予防キャンペーンのための講演会を、東日本地区及び西日本地区でそれぞれ開催する。
  - ア 東日本地区
    - 日時 平成 30 年 11 月 10 日 (土)
    - 場所 東京都千代田区よみうりホール
    - 世話人 朝日生命成人病研究所附属医院 診療部長 吉田洋子

## イ 西日本地区

日 時 平成 30 年 11 月中旬以降（予定）  
場 所 鳥取県内（未定）  
世話人 鳥取大学名誉教授 池田匡

### 4. 糖尿病に関する国際交流活動に対する助成

国際交流活動の一環として平成 28 年度まで実施した海外研修への参加研究者を対象として、企業との共同企画によるシンポジウムを実施する為の助成を行う。

その他、糖尿病に関する調査研究及び予防・啓発活動について新たな助成対象を検討する。また、当財団および当財団が行う事業についての認知度を高め、公益目的事業の推進の為の活動を幅広く行う。

## 公 2 公益目的事業

「2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験介入後の追跡研究 J-DOIT3（追跡）」の実施

本研究は、平成 17 年度から厚生労働省が実施した 3 課題からなる「糖尿病予防のための戦略研究」のうち課題 3（J-DOIT3）を継承するものである。

本研究では、血糖、血圧、脂質に対して厳格な目標を設定した治療を行い、従来のガイドラインに沿った治療と比較して大血管障害の進展を 30%抑制できるかを検討する。これにより糖尿病の重篤な合併症抑制のための有効な介入方法を検証することができ、生命予後に直結し、高額な医療費を必要とする大血管合併症の予防につなげることができる。

全国 81 施設の 2 型糖尿病 2,542 人の被験者の登録により、平均 8.5 年間という長期にわたる試験治療が進められ、介入研究自体は平成 28 年 3 月末で一旦終了した。

なお、海外では研究期間内で認められなかった大血管合併症の抑制効果とその後の長期観察で認められたことなどから、大血管合併症に関する研究には十分な観察期間が必要であることが近年明らかになってきていることから、平成 28 年度から 5 年間の予定で介入終了後の追跡研究を開始することを決定した。

具体的には、同意のとれた被験者を対象として、血糖値・血圧・脂質・体重や服薬状況に加え、治療内容や主要評価項目（死亡・心筋梗塞・脳卒中・血行再建術）、副次評価項目（全死亡、死亡・心筋梗塞・脳卒中、腎症、網膜症、下肢血管イベント）の有無について調査を継続実施する。また糖尿病やその治療薬と関連の深い重症低血糖、心不全による入院、悪性新生物、骨折、認知機能、QOLについても探索的評価項目として情報の収集を行う。介入研究の解析結果とともに、厳格かつ統合的な治療の合併症に対する長期的な効果も明らかになると期待され、糖尿病診療の現場に与える影響も大きい。

研究全体は研究代表者が統括し、当財団理事長は研究分担者の一人としてこれを補佐すると共に、当財団は研究基盤整備やモニタリング等のサポートを実施する。

## 公益財団法人日本糖尿病財団研究助成

### 2018 年度(平成 30 年度) 応募要項

#### 1 助成対象課題

糖尿病の基礎的ならびに臨床的問題に関する国内で行われる研究。

#### 2 助成金交付対象者・応募資格

- ・前項に掲げた研究に意欲的に従事する研究者。
- ・昨年度、当財団から助成を受けている方及び本年度の同時募集研究助成の重複応募は不可とする。
- ・昨年度、同一研究室から同様のテーマでの助成を受けている場合、応募は不可とする。
- ・所属する施設長の推薦を受けていること。

#### 3 推薦者

推薦者は施設長(学長・学部長・病院長・研究所長)とし、1 施設、1 推薦者から原則として 1 件とする。

#### 4 研究助成金

1 件 100 万円以内とし、5 件程度を予定。

#### 5 応募方法

当財団ホームページより申請書をダウンロードし、A3 用紙に両面印刷して 1 枚にまとめ、原本及びコピー 10 部を当財団に送付する。

#### 6 応募締切日

2018 年 8 月末日 必着

#### 7 選考方法

当財団選考委員会において選考し、理事会で決定する。

#### 8 採否の通知

2018 年 10 月末日までに応募者及び推薦者に採否を通知する。

#### 9 研究助成金の交付

2018 年 11 月中に交付する。

#### 10 研究助成金の使途

研究助成金の交付対象となる経費は、研究に要する物品の購入費用及びその他研究の推進に必要な費用とする。

#### 11 研究期間

2018 年 12 月 1 日から 2019 年 11 月 30 日までの 1 年間とする。

#### 12 研究成果等の報告

2020 年 2 月末日までに、研究報告書及び収支決算報告書を電子媒体にて当財団に提出する。

また、本研究結果の公表に際しては、「公益財団法人日本糖尿病財団」(Japan Diabetes Foundation) の助成による旨を明記するとともに、刊行物に掲載した場合はその写しを当財団に提出する。

#### 13 応募用紙送付先及び連絡先

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-40-11 柏屋ビル南館 7 階

公益財団法人 日本糖尿病財団 事務局

TEL 03-3815-2050 FAX 03-3815-4954

E-mail:info@j-df.or.jp URL:http://www.j-df.or.jp

## 第5回 ベーリンガー/リリー糖尿病研究助成 2018年度(平成30年度) 応募要項

### 1 助成対象課題

「糖尿病病態下における臓器連関に関する基礎研究」または「糖尿病病態下における老年症候群に関する基礎研究」に限る。

### 2 助成金交付対象者・応募資格

以下の条件を満たす者とする。

- 1) 応募締切日の年齢が 45 歳以下の者。
- 2) 日本国内に在住する研究者。
- 3) 所属する施設長の推薦を受けていること。

但し、昨年度当財団から助成を受けている方及び本年度の同時募集研究助成との重複応募は不可とする。

### 3 推薦者

推薦者は施設長(学長・学部長・病院長・研究所長)とし、1 施設、1 推薦者から原則として 1 件とする。

### 4 研究助成金

1 件 300 万円とし、3 件以内。

### 5 応募方法

当財団ホームページより申請書をダウンロードし、A3 用紙に両面印刷して 1 枚にまとめ、原本及びコピー 10 部を当財団に送付する。

### 6 応募締切日

2018 年 8 月末日 必着

### 7 選考方法

当財団選考委員会において選考し、理事会で決定する。

### 8 採否の通知

2018 年 10 月末日までに応募者及び推薦者に採否を通知する。

### 9 研究助成金の交付

2018 年 11 月中に交付する。

### 10 研究助成金の使途

研究助成金の交付対象となる経費は、研究に要する物品の購入費用及びその他研究の推進に必要な費用とする。

### 11 研究期間

2018 年 12 月 1 日から 2019 年 11 月 30 日までの 1 年間とする。

### 12 研究成果等の報告

2020 年 2 月末日までに、研究報告書及び収支決算報告書を電子媒体にて当財団に提出する。

また、本研究結果の公表に際しては、「公益財団法人日本糖尿病財団」(Japan Diabetes Foundation) の助成による旨を明記するとともに、刊行物に掲載した場合はその写しを当財団に提出する。

当該研究助成プログラムは日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社および日本イーライリリー株式会社との共同企画であり、研究助成金は両社によって拠出されるが、研究助成対象者は日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社または日本イーライリリー株式会社に対する特別な義務は何ら生じない。

### 13 応募用紙送付先及び連絡先

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-40-11 柏屋ビル南館 7 階

公益財団法人 日本糖尿病財団 事務局

TEL 03-3815-2050 FAX 03-3815-4954

E-mail: info@j-df.or.jp URL: <http://www.j-df.or.jp>

## 公益財団法人日本糖尿病財団・コストコ研究助成

## 2018年度(平成30年度) 応募要項

## 1 助成対象課題

小児又は若年発症糖尿病(いずれも病型は問わない)に関する基礎的又は臨床的研究。

## 2 助成金交付対象者・応募資格

前項に掲げた研究に意欲的に従事する研究者で、以下の条件を満たす者とする。

- (1) 日本国内に在住する研究者であること
- (2) 所属する責任者の推薦を受けていること

\*本年度当財団から助成を受けている方の応募は不可とする。

## 3 推薦者

推薦者は所属の責任者(施設長・教授・診療部長)とし1推薦者から1名の推薦とする。

## 4 研究助成金

1件 100万円以内とし、5件以内とする。

## 5 応募方法

当財団ホームページより申請書をダウンロードし、A3用紙に両面印刷して1枚にまとめ、原本及びコピー10部を当財団に送付する。

## 6 応募締切日

2019年1月10日 必着

## 7 選考方法

当財団選考委員会において選考し、理事会で決定する。

## 8 採否の通知

2019年2月末日までに応募者及び推薦者に採否を通知する。

## 9 研究助成金の交付

2019年3月中に交付する。

## 10 研究助成金の使途

研究助成金の交付対象となる経費は、研究に要する物品の購入費用及びその他研究の推進に必要な費用とする。

## 11 研究期間

2019年4月1日から2020年3月31日までの1年間とする。

## 11 研究成果等の報告

2020年6月末日までに、研究報告書及び収支決算報告書を電子媒体にて当財団に提出する。

また、本研究結果の公表に際しては、「公益財団法人日本糖尿病財団」(Japan Diabetes Foundation)の助成による旨を明記するとともに、刊行物に掲載した場合はその写しを当財団に提出する。

当該研究助成プログラムは、コストコホールセールジャパン株式会社との共同企画であるが、助成交付対象者は、コストコホールセールジャパン株式会社に対する特別な義務は一切生じない。

## 12 応募用紙送付先及び連絡先

〒113-0033 東京都文京区本郷3-40-11 柏屋ビル南館7階

公益財団法人 日本糖尿病財団 事務局

TEL 03-3815-2050 FAX 03-3815-4954

E-mail:info@j-df.or.jp URL:http://www.j-df.or.jp

2018 年度（平成 30 年度）第 1 回  
公益財団法人日本糖尿病財団 学術研究集会助成 応募要項

- 1 助成対象学術集会  
糖尿病に関する学術集会
- 2 助成金交付対象者  
当該学術集会の責任者
- 3 助成希望額  
学術集会として必要とする額
- 4 応募方法  
所定の申請書により原本及びコピー10部を当財団に送付する。
- 5 応募締切日  
2018年8月末日 必着
- 6 選考方法  
当財団選考委員会において選考し、理事会で決定する。
- 7 採否の通知  
2018年10月末日までに、応募者に採否を通知する。
- 8 研究助成金の使途  
研究助成金の交付対象となる経費は、学術集会に要する費用及び運営費とする。
- 9 研究助成金の交付  
採択通知後、責任者からの送金請求に基づき口座振込の方法により交付する。
- 10 研究成果等の報告  
責任者は学術集会終了後6か月以内に事業報告書および収支報告書を当財団に提出する。
- 11 応募用紙請求・送付先および連絡先  
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-40-11 柏屋ビル南館 7 階  
公益財団法人 日本糖尿病財団 事務局  
TEL 03-3815-2050  
FAX 03-3815-4954  
E-mail: info@j-df.or.jp

## 2018 年度（平成 30 年度）第 1 回

### 公益財団法人日本糖尿病財団 総合調査研究助成 応募要項

#### 1 助成対象課題

糖尿病の基礎的ならびに臨床的問題に関する研究及び運営費

#### 2 助成金交付対象者・応募資格

前項に掲げた研究に意欲的に従事する研究者機関・組織

#### 3 研究助成金

組織として必要とする額

#### 4 応募方法

所定の用紙に記入し、原本およびコピー10部を当財団に送付する。

#### 5 応募締切日

2018 年 8 月末日 必着

#### 6 選考方法

当財団選考委員会において選考し、理事会で決定する。

#### 7 採否の通知

2018 年 10 月末日までに、応募者に採否を通知する。

#### 8 研究助成金の使途

研究助成金の交付対象となる経費は、研究に要する物品の購入費用およびその他研究の推進に必要な費用及び運営費とする。

#### 9 研究助成金の交付

採択通知後、責任者からの送金請求に基づき口座振込の方法により交付する。

#### 10 研究成果等の報告

当該事業年度終了後、速やかに研究報告書および収支決算報告書を当財団に提出する。  
また、本研究結果の公表に際しては「公益財団法人 日本糖尿病財団」(Japan Diabetes Foundation) の助成による旨を明記すると共に、刊行物に掲載した場合はその写しを当財団に提出する。

#### 11 応募用紙請求・送付先および連絡先

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-40-11 柏屋ビル南館 7 階

公益財団法人 日本糖尿病財団 事務局

TEL 03-3815-2050

FAX 03-3815-4954

E-mail: info@j-df.or.jp